

地下水調査の結果について (令和6年2月)

令和6年2月に行った地下水調査の結果、すべての観測井戸において、地下水の水質汚濁に係る環境基準値を満足していました。

供用開始後の地下水調査の結果

単位：mg/ℓ

試料 (採水日) 項目	ボーリング No. 1	ボーリング No. 2	ボーリング No. 3	ボーリング (代) No. 3	定量下限値	基準値
	2/28	2/28	2/28	2/28		
pH	6.8	7.5	5.3	5.8	—	—
電気伝導率	42.4	43.7	15.2	22.3	0.1	—
浮遊物質	不検出 (<1)	不検出 (<1)	4	16	1	—
総水銀	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	0.0005	検出されないこと。
カルシウムイオン	48	71	5.1	14.0	0.1	—
ナトリウムイオン	23	15	24	28	0.1	—
カリウムイオン	0.6	1.4	1.4	1.6	0.1	—
マグネシウムイオン	9.4	10.0	1.3	3.3	0.1	—
硫酸イオン	50	27	1.4	5.1	0.1	—
硝酸イオン	14	2.2	0.4	不検出 (<0.1)	0.1	—
炭酸水素イオン	100	240	27	71	0.1	—
塩化物イオン	47	12	36	34	0.1	—

(注) ・不検出とは、定量下限を下回っていることを示します。

- ・分析は、「土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第3版）」の「Appendix-7地下水の採水方法」に従い採水した試料を用いて分析した。
- ・ボーリングNo.3地点は、今後の跡地利用に支障となるため、その代替観測地点として、No.3地点付近にボーリング（代）No.3を設置した。次回からは、この代替観測孔にて採水を行う。